

Hyogo

マNDERE 経済



■ 創業者や創業家の資産などで設立・運営される兵庫県内の主な財団法人

名称	関連する企業	代表者(敬称略)	所在地
神戸やまぶき財団	シスメックス、TOA	和田長平	神戸市中央区
木下記念事業団	マルイト、アコム	木下勝弘	
三木瀧蔵奨学財団	三共生興	三木京子	
瀧川奨学財団	兵庫トヨタ自動車	瀧川博司	
村尾育英会	上組	村尾憲一郎	
長谷川福祉会	大真空	小寺桂太郎	神戸市兵庫区
中山視覚福祉財団	トラスコ中山	中山哲也	
コーナン財団	甲南アセット	小林宏至	
伊藤文化財団	伊藤ハム	伊藤功一	
中内育英会	ダイエー	中内 正	
G-7奨学財団	G-7HD	井上登志男	神戸市長田区
井植記念会	三洋電機(現パソニックHD)	井植貞雄	
二木育英会	フタギ(現イオン)	二木喜子	神戸市垂水区
昭瀝記念財団	昭瀝靑工業	浜本博司	
グローリー小学生育成財団	グローリー	堤 修	姫路市
山陽特殊製鋼文化振興財団	山陽特殊製鋼	宮本勝弘	
寺浦奨学会	ハイレックスコーポレーション	寺浦太郎	宝塚市
川西記念新明和教育財団	新明和工業	川西康夫	
長谷川松籙財団	ハリマ化成グループ	長谷川吉弘	加古川市
業務スーパージャパンドリーム財団	神戸物産	沼田博和	
多木文化振興会	多木化学	多木隆元	尼崎市
山村育英会	日本山村硝子	福島彰利	
関通物流技術振興財団	関通	達城久裕	西宮市
大谷教育文化振興財団	SECカーボン、大谷製鉄	大谷寿一	
福田記念財団	日本管財HD	福田慎太郎	芦屋市
木口福祉財団	ワールド	木口由美	
東洋食品研究所	東洋製罐グループHD	難波 誠	川西市
日工記念事業団	日工	西川貴久	
志・建設技術人材育成財団	ソネック	渡辺健一	高砂市
福嶋育英会	ウメトク	福嶋正彦	

※内閣府のサイトから研究助成や奨学金の給付を手がける主な財団法人を集計。HDはホールディングス

今年16日、神戸市の名を冠した学術賞「神戸賞」の第1回受賞者が発表された。賞を創設したのは、医療用検査機器を世界展開するシスメックス(神戸市中央区)の創業家がつくった公益財団法人「中谷医工計測技術振興財団」(東京)だ。この財団のように、企業の創業者や一族らが創設し、学術の業績を顕彰したり、奨学金や助成金を提供したりする財団は数多く存在する。調べてみると、兵庫県内には企業が関連する財団が50以上もあった。教育や福祉、研究開発など、行政による「公助」だけでは手が届きにくい分野を、これらの財団がカバーしている。

(高見雄樹)

(単位:億円)

名称	資産総額	年間助成額
1 石橋財団(東京都)	3542	1.41
2 日本財団(東京都)	2869	476
3 ポーラ美術振興財団(東京都)	2803	0.88
4 中谷医工計測技術振興財団(東京都)	1553	6.47
5 笹川平和財団(東京都)	1494	4.15
6 神戸やまぶき財団(神戸市中央区)	1465	7.07
7 博報堂教育財団(東京都)	1361	2.79
8 上月財団(東京都)	1313	0.84
9 稲盛財団(京都市)	1257	8.07
10 ロームミュージックファンデーション(京都市)	1218	1.65

※2020年度。(公財)助成財団センターの資料から作成

企業系財団、「公助」カバー

神戸やまぶき財団

難病患者らに総額40億円超

ブリヂストン創業家の石橋財団(東京)、ポートルエスの収益の一部を財源とする日本財団(同)…。助成財団センター(同)の2020年度の資料を見ると、民間資金で設立された財団法人のうち、資産総額の大きな財団の上位には著名な組織がずらりと並ぶ。

その中で4位に入ったのが、神戸賞を創設した中谷財団だ。そして6位には「神戸やまぶき財団」(神戸市中央区)の名があった。

神戸やまぶき財団とはどんな財団か。実は、これもシスメックスと縁がある。同社を創業した故中谷太郎氏の妻忠子さんが12年、保有株をもとに創設した。基本財産はシスメックス株式3600万株と、TOA(同)の株式200万株。配当収入を原資に、障害者や難病患者らを支援している。

23年度は県内の221団体を対象に計5億2千万円を助成し、障害者支援団体の建物改築や送迎用車両の購入などに充てられた。設立以来の助成総額は4億7800万円に

県内に50人以上 奨学金提供や研究開発支援

上るほか、障害者や要保護児童に対する奨学金として計16億1千万円を給付している。一方、中谷財団は太郎氏が1984年に設立した。忠子さんは2023年に亡くなったが、夫婦が設立した両財団の資産を合わせると、民間財団トップの石橋財団に次ぐ規模になる。

中谷財団や神戸やまぶき財団のように、企業関連の財団は、事業でこつこつ蓄積した財産や株式市場に伴う利益を、創業者や創業家が拠出して設立されるケースが多い。そして未来を担う人材を育てるため、多くの財団が返済不要の奨学金を給付している。

例えば豊岡市出身で繊維商社の三共生興(大阪市)を起した故三木瀧蔵氏による「三



中山視覚福祉財団

視覚障害者に活動の場提供

奨学金や助成金以外の方法で、社会的使命を果たそうとする財団もある。

神戸・新開地に近い大通り沿いに建つ中山記念会館は、外観の優美な曲線が目を引き、5階建て、延べ床面積570

開放的な中山記念会館のカフェで談笑する、中山視覚福祉財団の松前篤志常務理事(中央)ら。神戸市兵庫区水木通2

財団法人 財産に対して法人格が与えられ、一定の目的のために活動する団体。個人や企業などが拠出した基本財産に対する利子や配当金を活動費に充てる。一般財団法人のうち、収入と支出が均衡する「収支償還」などの条件を満たし、第三者委員会の審査を経て行政庁が認定すれば、公益財団法人となり税制が優遇される。県内で事業を展開する団体は、複数の都道府県や全国規模の場合は内閣府が所管する。

0平方メートルのビルだ。視覚障害者を支援する団体に活動の場を提供しようと、「中山視覚福祉財団」(神戸市兵庫区)が約40億円を投じて21年9月に完成させた。現在は7団体に無償で貸し出している。

同財団は工具卸トラスコ中山(大阪市)の中山哲也社長が1997年、同社株式400万株と現金5億円を拠出して立ち上げた。視覚障害がある中山氏は95年の阪神・淡路大震災の経験から、目の不自由な被災者の支援が必要と判断。当時は戸屋に住んでおり、

また、「ホテルモントレ」などを手がける不動産のマルイト(大阪市)や、消費者金融のアコム(東京)を創業した故木下政雄氏による「木下記念事業団」(神戸市中央区)は、兵庫県内4カ所で学生寮を運営。経済的に困難な状況にある学生たちを支援している。

「寄り添う」創始者の思い大切に

民間資金で設立された財団法人では、兵庫県内で最大の資産規模を誇る神戸やまぶき財団。事務局長としてスタッフ14人をまとめる駒田和彦常務理事に、財団の運営方針などを聞いた。一運営上で心がけていることは。「創始者の故中谷忠子さんが繰り返し説いた『寄り添う』という言葉大切にしている。上から目線にならず、障害者や難病患者、児童養護施設などにいる要保護の子どもたちのためになるかが判断基準だ」

一多大な資産を管理するのは大変では？

「資金は運用せず、寄付も受けないことを定款で定めている。シスメック

神戸やまぶき財団 駒田和彦常務理事



スとTOA、両社株式の配当が全て。奨学金は2～6年と長期にわたるので、仮に配当が減っても給付を続けられるよう、細かく計算して別勘定で確保している」

一やりがいを感じる時は。「障害があったり、DV(ドメスティックバイオレンス)の被害を受けたりして、厳しい勉学の環境にある学生を給付型奨学金で支援している。医学部や薬学部だと6年間の学費の総額は1500万円ほどになる。卒業して感謝の手紙をもらう時は本当にうれしい」

一今後の目標は。「障害者や難病患者を支える人や団体は多いが、規模が小さくて行政の手が届かないところがある。手を差し伸べる必要性は高く、しっかり対応したい」